



公益社団法人日本山岳会
高尾の森づくりの会
代表 河西 瑛一郎

皆様明けましておめでとう御座います。

高尾森づくりの会員の方々、このホームページをお読みの皆さんに新年のご挨拶を申し上げます。

皆様のたゆまぬ努力で当会は順調に発展し、今年15回目の植樹祭を開催できる事に共に喜びたいと思います。

当会が発足して15年---約5500日---13万時間が経過しました。この間に行われた作業量と汗の量、そして飲み干した酒の量は如何程かと考えますと、この15年の時間の長さを実感します。

一方、今から100年前の1915年6月6日には上高地を見下ろす焼岳の噴火が有り、大正池が出現した年でもありました。山の自然は100年という時間でもかなり変化をするものだと感じられます。

さて、今年は色々な行事があります。日本山岳会の創立110周年の年であり、「山の日」が国民の休日として実施される年でもあります。高尾地区で言えば、京王電鉄が作る温泉施設や八王子市が開設する「高尾の里」も秋にはオープンの運びとなるでしょう。

当会も石井 倫行さんをリーダーに「創立15周年委員会」を立ち上げ、12月に第一回の準備会を開きました。

節目の年に我々も更なる一歩を踏み出し、50年100年先を思い描いて、しっかりした歩みを続けて行きたいものだと考えています。

今年も皆様のご協力に期待すると共に、ご健勝を祈念して挨拶とします。

